# PTA役員が学校教育に奉仕や協力

## 連合PTA海外視察研修報告 ②

女性の校長先生からイギリスの教育事情について説明を受ける参加者

父母と教師の会
副会長　帆苅正秀

昨年の十月十七日、PTA役員七人でイギリスの研修視察に旅立ち、空港に降り立つと爽やかなロンドン晴れが出迎えてくれました。

私たちが訪れた学校は小学校と中学校でしたが、両校ともさわやかな女性の校長先生で自ら学校を案内していただきました。

小・中学校の校長先生との懇談の中にも出てきましたが、教育方針などを聞きましたところ、「尊敬の持てる人間、協調性のある人間」「個人として人間として自分の考え、個性を生かす」教育を目指すことを強調されました。

日本では、あまりこの様な事は言わないのではないでしょうか。

何故このように言うのかと申しますと㊀児童の八十五％が英国人でないこと。㊁児童の家庭の四十％の親が失業者であること等、日本では考えられない要素があると思われます。

残念ながら中学校の各教室を案内して貰えなかったので小学校の授業風景を一部紹介させていただきます。

高学年の教室で算数の勉強時間を見学させて戴きましたところ皆一生懸命計算をしていましたが、何人かの生徒が計算機を使って計算しているのに驚きました。校長先生に「何故、計算機を使用するのか」と尋ねますと「計算方式・計算方法を確実に覚えた生徒だけに答えが正しいか確かめる為に計算機を与えて貰えるのだそうです。

校長先生との懇談を終え、部屋から出ると一人の生徒が校長先生の前で勉強しているのでどうしたのかと伺いますと多少のトラブルを起こし、罰として校長先生の前で勉強させられ反省をうながすものだそうです。

個性を十二分にいかす教育、個性豊かな人間づくりを各学校の教師が努力し、生徒が答えようとしているのが伺えました。

日本の小・中学校も、もう少し「人間教育」に力をいれて欲しいと思いました。

最後に私達連合PTAの研修旅行に対し、村から協力載きましたことに感謝申し上げます。

父母と教師の会
副会長　酒井共幸

最初に訪ずれた学校は、セント・アンズ・プライマリスクール。

この学校の教育方針は、人間としての優しさや他人に対しての思いやりを持つことを子供達に教えるというものでした。

子供たちが良いことをした場合は「グッドニュースレター」を家庭に持たせてやるそうで、子供にしても親にしても大変喜しい限りです。

ところで、一学級を代表して一人のPTA役員が選出され、学校教育に積極的に奉仕や協力をし、子供の面倒をみたり勉強も教えてくれるというものでした。

また、教室へ案内されたびに子供達全員が日本語で挨拶してくれた時は、大変感動し、今でも深く印象に残っています。

次に訪れた学校は、ピムリコ・セカンダリースクール。

この学校では、勉強のほか人間としての自覚を持つ事や感情の表現の仕方などを生徒に教えています。

登校拒否があった場合、教育委員会の指導のもとで直接、教師が家庭まで出向いて行って相談にのったり、勉強を教えているとのことでした。

部活動は、放課後、学校施設を利用して大人と一緒になって自分の好きな事、スポーツ等をやっています。

今回の両校視察で実際、子供達と接してみて感じたことは、多国籍、多民族の子供達が一緒になって学んでいるというのに授業風景も伸び伸びしているし、何よりも子供たちが明るく、無邪気で大変陽気であり、私たちが話しかけたりすると気軽に応じてくれました。

教育方針も勉学だけでなく、『心』と『人間創り』を大切にしていることを感じさせられました。

今回、海外研修視察に参加し、イギリスの子供達の明るく伸び伸びした様子と父母の学校への熱心な奉仕と協力姿勢等を目の当たりにし深く考えさせられました。

最後に海外研修視察の実現にあたり、村当局をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

また、今後この経験を生かし、村やPTA活動発展のため尽力したいと思っています。

**セント・アンズ・プライマリスクール（イギリス）の概要**

- 生徒数　二百五十二人
- 一クラス　三十人で三歳から十一歳の子供が学んでいる。五歳から小学生となる。
- 授業時間　午前九時から午前十一時三十分まで。
- キリスト協会が建物を提供。
- 八十五％がイギリス人以外の子供、約四十％が失業している地域の子供たち。

**ピムリコ・セカンダリースクール（イギリス）中高校の概要**

- 生徒数　千二百八十人
- 十一歳から十六歳までの生徒が学んでいる。十一歳から十六歳までが義務教育。
- 五十％がイギリス人以外、五十％が十六歳から十八歳までの生徒。
- 同じ生活水準の子供達で大学進学率は三十％くらい。

# 学生の皆さん 就職したら種別変更届を忘れずに

国民年金は、不慮の事故やお年寄りになったときに備えて二十歳から六十歳までのすべての方が加入する年金制度です。

二十歳以上の学生の皆さんも全員が国民年金に加入することになっており、その種別は「第一号被保険者」となります。

そして、卒業後、会社などに就職して厚生年金や共済組合に加入すると「第二号被保険者」に変わります。この際、国民年金の種別変更の届け出が必要です。

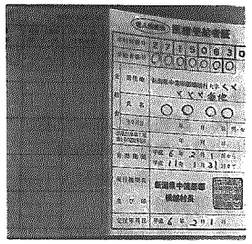
役場で年金手帳と印鑑を持参のうえ、「第一号被保険者」から「第二号被保険者」への変更手続きをして下さい。

大切な手続きですから忘れないようにしましょう。

なお、年金手帳は一人に一冊で一生を通じて使用するものです。

厚生年金や共済組合に加入する手続きは、事業主が行いますので在学中に受けとった年金手帳は、必ず就職先の事業主に提出して下さい。

## 老人医療受給者証 更新の人に郵送



村では、平成六年一月三十一日で有効期限が終了する「老人医療受給者証」をお持ちの人に新しい受給者証（五年間有効）を一月末に郵送しました。

二月一日以降に病院や診療所などで診療を受けるときは、窓口に新しい「受給者証」と「健康保険証」を提出して下さい。

問い合わせ　住民課（電話三八五―二一一一）へ。

## 瓢湖探鳥会及び野鳥保護の集い

県と県野鳥愛護会では、広く県民に対し水鳥に関する知識を深め、野鳥保護思想の普及、啓発を図るとともに野鳥保護の地域活動を盛り上げる目的で開催しますので、ぜひ参加して下さい。

○日時　2月27日㈰午前10時～午後3時まで
○場所　北蒲原郡水原町
(1)探鳥会　瓢湖
(2)野鳥保護の集い　水原町福祉会館
○日程
(1)集合　午前10時・水原町福祉会館
(2)探鳥会　午前10時20分～11時40分
午前11時　瓢湖の水鳥観察及び給餌見学
(3)野鳥保護の集い　午後0時30分～午後3時
○講師　県野鳥愛護会探鳥指導員
○参加要領
(1)参加申し込み先
〒957―02北蒲原郡紫雲寺町大字藤塚浜字海老池　新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
電話0254―41―4500・4501
(2)申し込み方法
はがきに住所、氏名、電話番号及び自動車利用の場合は、その旨を明記して2月13日㈰まで申し込み下さい。
なお、参加申し込み者には、必要に応じて案内、「白鳥会館前町営駐車場無料利用券」をお送りします。

# 新潟県立自然科学館 催物案内

**家庭のやさしい化学教室**
**家庭の中の身近な物を化学する。**

- 日　時　2月20日㈰・3月6日㈰　各日とも9時30分～12時
- 場　所　同館実験室
- 内　容　廃油から「石けん」を作る。
- 対　象　2日間とも参加可能な主婦（子供の同伴も可）20名
- 参加料　5百円
- 申し込み方法　往復ハガキに住所・氏名・学校名・学年・電話番号を記入（親子で参加される場合は連名で記入）のうえ〒950新潟市女池字蓮潟東2010―15「新潟県立自然科学館　家庭のやさしい化学教室係」まで、または、案内カウンターの申込用紙にハガキ代50円を添えて申込む。

**レーザーで梳を作ろう**
**君もレーザー実験装置に挑戦しよう！**

- 日　時　2月12日㈯　14時～14時40分
- 場　所　同館　講堂　サイエンスプラザ
- 内　容　炭酸ガスレーザー、アルゴンレーザーを用いてレーザー発振の原理やしくみを理解してもらい、また実験装置のボタンを操作してもらいレーザー加工を体感してもらう。
- 対　象　小学校5年生以上　20名
- 参加料　通常の入館料で可。
- 受　付　同館3階　サイエンスプラザで先着順で受付。

**新展示物の紹介**
**「科学の目」が2月20日㈰にオープン**

新展示物「科学の目」は、最新の科学技術の目を通して生物の世界を探り、新しい発見ができる展示です。

ここには、「清流の生物」「鳥屋野潟の野鳥」「野外探検図鑑」「光学顕微鏡の世界」「電子顕微鏡の世界」のコーナーがあり、超ミクロの世界から超望遠カメラで探る世界までを体験できます。

なかでも電子顕微鏡は、県内では初めて一般の人が自分で操作できるもので立体的で高い倍率の画像を観察することができます。

また、大画面テレビシアターも備えてあり、各コーナーの画像を大きく映しだすため迫力のある生物の世界を感じることができます。

**新潟県立新潟女子短期大学**
**平成6年度特別受講生募集**

- 対象　18歳以上の方（男女問わず）
- 経費　1,000円（教材費などは実費）
- 科目　教養・生活科学・福祉・英語など全41科目。
- 募集要項の請求　2月21日から3月4日までに130円切手をはった返信用角2封筒を同封して「特別受講生募集要項請求」と記して3月7日までに同大学教務学生課（〒950 新潟市海老ケ瀬471電話274―0348）へ